

1、穴埋め問題です。

さて、神である【主】が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番[]であった。蛇は女に言った。「あなたがたは、園の[]からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」女は蛇に言った。「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。しかし、園の[]の実について、神は、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけなからだ』と仰せになりました。」そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは[]死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが[]、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、[]、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。このようにして、ふたりの目は開かれ、それで彼らは自分たちが[]であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。そよ風の吹くころ、彼らは園を歩き回られる神である【主】の声を聞いた。それで人とその妻は、神である【主】の御顔を避けて園の木の間に身を[]。神である【主】は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。「あなたは、どこにいるのか。」彼は答えた。「私は園で、あなたの声を聞きました。それで私は裸なので、[]、隠れました。」すると、仰せになった。「あなたが裸であるのを、だれがあなたに教えたのか。あなたは、食べてはならない、と命じておいた木から食べたのか。」人は言った。「[]置かれたこの女が、あの木から取って私にくれたので、私は食べたのです。」

2、ここに出てくる「蛇」は「あの古い蛇」（黙示録 12 章 9 節）と呼ばれ、サタンを暗示しています。彼の特徴は、何ですか。

3、神様がたった 1 つ禁じていた、園の中央にある「善悪の知識の木」から、ふたりが、取って食べたとき、どんな結果になりましたか。

4、ふたりが、神様から「あなたは、いったいなんということをしたのか。」と、問われたとき、どう答えましたか。

5、イザヤ書 53 章 5 節「しかし、彼（キリスト）は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。」とあります。神は、人の罪の責任を誰に負わせましたか。

